



はくほう Walker

No.10

広報誌名「はくほうWalker」
はくほう会セントラル病院は地
域住民や患者様と共に歩むとい
う想いが込められています。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

院長挨拶

おせっかいの世界を変える-Plus Heart Action-

2021年度 グループ防災訓練

診療科紹介

リハビリテーション科のご紹介

部門紹介

放射線部からお知らせ

Dr. Tetsuya Kikuchi is a middle-aged man with short, dark hair, wearing glasses, a white lab coat, and a dark tie. He is seated in an office, with a computer monitor visible in the background to his left. The image is a circular inset within a larger blue circle.

以上、今年も昨年に引き続き新型コロナ感染の話になりましたが、今年が皆様にとってよい年であることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

17 1987年(昭和62年)9月23日 水曜日 第17頁

からだ

健康診断でHbA1cを正しく測定するための対策

(古賀正史執筆)

- ・免疫法や酵素法ではなく、HPLC法で測定
- ・免疫法や酵素法で測定する際は、専ら血糖値ではなく、血糖で測定
- ・採血管は、血液管ではなく、EDTA管の使用

糖尿病検査、「HbA1c」測定

これからの測定法は、採血管を通した時、血液が凝固してはならない。凝固すると、HbA1cの値は正確に測定できない。そのため、採血は採血後、時間をあけてから測定すること。HbA1cを多く含む赤血球が壊れて、血清中に溶け出して、血糖値を測定することになる。

糖尿病は、採血して血糖値や「HbA1c」を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。

低値を示すパターンに注意

糖尿病は、採血して血糖値や「HbA1c」を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。

免疫法、酵素法+長時間保存、運搬+血糖管を使用

「患者の半数、見逃す恐れも」

はくほう会セントラル病院(尼崎市)

古賀正史院長学会に提起

ヘモグロビンA1cの値下について調べた。はくほう会セントラル病院の古賀正史院長(尼崎市東山町1-4)

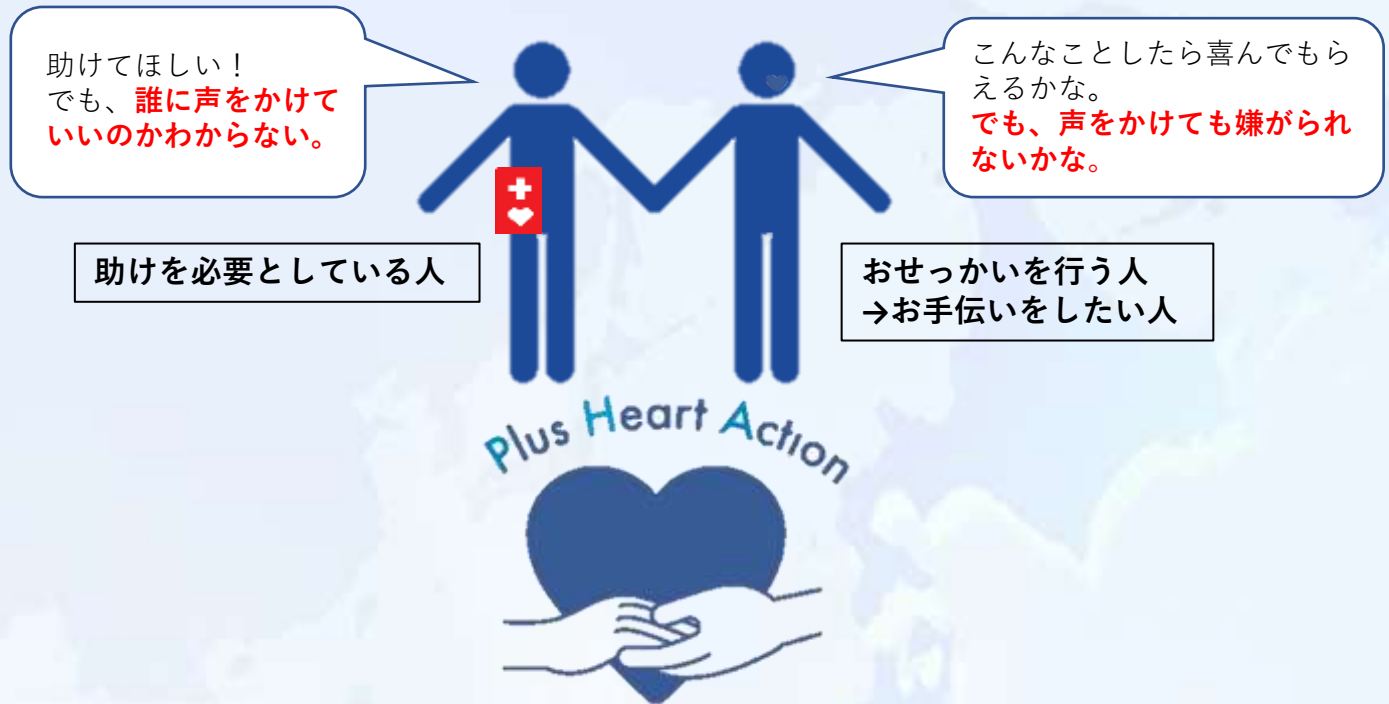
紙質の信用を説明。免疫法、酵素法で測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。

採血時に使用する血糖管(右)とEDTA管

糖尿病は、採血して血糖値や「HbA1c」を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。HbA1cは、血糖値と血糖値の平均値を測定する。

おせっかいが世界を変える

おせっかいはありがた迷惑とも言われますが、相手に喜んでほしい、何かしてあげたいという行動です。



「助けを必要としている人」にはヘルプマーク等があります。
「お手伝いをする、したい人」にもマークがあれば、助け合いがよりスムーズに進むのではと考えて、
発案されたのは『**Plus Heart Action**』です。

これは「助けを必要としている人」と「お手伝いをする、したい人」がお互いにわかれば、声をかけやすくなり、助け合いを当たり前にする世の中を作っていく運動です。

信頼・調和・揺らぐことのない愛を意味する  をシンボルにし、この運動を皆様に知っていただきたいと思います。

「声をかける」、「寄り添う」ことが気軽にできる社会は明るく過ごしやすいと思います。

この運動の一つに『**HELP MASK**』があります。コロナ禍でマスクをすることが当たり前になってきました。マスクに  を着けて、この運動を発信しています。

見てみぬふりは、もうやめた。
誰ひとり取り残さない。誓いをする。



まずはあなたから、
助け合いの気持ちを表明していただだけませんか？

詳細は右記のQRコードで
ご確認ください



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

伯鳳会グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



2021年度 防災訓練



12月4日 伯鳳会グループ防災訓練

東京・大阪・兵庫の伯鳳会グループのAMAT（全日本病院協会災害時医療支援活動班）が一堂に会し、防災訓練を行いました。

院長の挨拶からスタート



津波警報発令
配置の再指示



避難誘導

南海トラフ沖
地震発生

対策本部設置



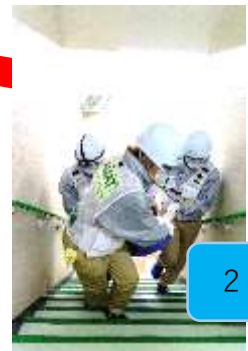
配置の指示



トリアージタグごと
に誘導・医療処置



2Fへ避難



避難完了



トリアージゲート



無事終了



グループ防災訓練の記録をドローンで撮影しました

ドローンは記録だけでなく、災害時には救助者捜索に活躍します。



12月5日 近畿府県合同防災訓練

兵庫県にて近畿2府7県の200機関、1800人での大規模訓練が行われ、唯一の民間医療機関として伯鳳会グループが参加しました。

「高度診療×モビリティ×IT」を実現した**世界初**の災害医療対応車両として、Medical-Connexは大きな反響を得ました。



三木防災公園のSCU（Staging Care Unit:広域搬送拠点臨時医療施設）の横にMedical-Connexを配置した訓練を行いました。トリアージした患者をMedical-Connexに運び、CT検査を行うといった訓練であり、災害現場での活躍が想像できる内容でした。

この数カ月でも日本各地で多くの地震が発生しています。伯鳳会グループはこのような防災訓練を行い、災害時に活躍できるよう努めてまいります。

You Tubeに動画がありますので、
ぜひご覧ください



伯鳳会グループ
HAKUHOKEI GROUP

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

伯鳳会グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



リハビリテーション科

リハビリテーション科では、**先進医療**を治療に取り入れています。

修正CI療法



CI(constraint-induced movement therapy)療法は脳卒中などの後遺症として残ってしまった麻痺側上肢に対して、集中的リハビリテーションを行うことで機能回復などを目的する療法です。

麻痺側上肢の不使用が起きている状況に対し、健側上肢使用の制限と麻痺側上肢使用の段階的訓練を柱として治療を組み立てます。健側をできるだけ使用しないことによる麻痺側の使用を日常生活動作で行うことを目標としています。

このことにより学習性不使用から脱却して、機能が向上し、さらにモチベーションが上がると考えられています。自らの生活の中で、患側上肢を使用していく過程を学習するため、治療後の日常生活動作（移動・食事・排泄等）や手段的日常生活動作（買い物・家事等）の向上を期待することができます。

（当院でも新たにプロトコルを作成し、治療の機会を提供準備しており2022年から開始予定です。）

American Heart/Stroke Association（アメリカ心臓/脳卒中学会）のガイドラインによるとCI療法及び修正CI療法は高齢脳卒中患者の上肢麻痺を改善するための合意的な方法として、**推奨グレードⅠ、エビデンスレベルA**を得ています。

ボツリヌス療法



ボツリヌス療法（ボトックス療法）は、ボツリヌス菌が作り出すボツリヌストキシンを筋に注射することで、痙縮を安全かつ効果的に軽減することのできる治療法です。当院では外来・入院で行っています。

- ▶ つっぱったり、こわばっている筋肉に、直接お薬を注射します。
- ▶ 注射した筋肉のつっぱりやこわばりをやわらげます。

上肢用ロボット型運動訓練装置（ReoGo-J）



脳血管疾患の上肢麻痺の肩や肘の動きを改善する可能性のある治療法です。訓練モードに負荷量や速さを組み合わせ訓練設定できます。自主練習にも利用されています。セラピストによる訓練とReoGo-Jによる自主訓練の併用は、通常の自主訓練を併用した場合に比べ、有意に運動機能を改善することが期待できます。

私たちはチームで連携し、患者様の機能回復、社会参加に向けて支援します。

リハビリテーション科は現在常勤医師5名、非常勤医師6名で回復期病棟、外来、通所・訪問リハビリテーションに従事しています。回復期病棟においては医師の配置をできる限り固定し、多職種で連携しやすい体制を整えています。リハビリを進めていくうえでチームの連携が重要であると考えています。



NEW

放射線部より

CT装置が 新しくなりました

令和3年12月よりAIによる検査アシスト機能を搭載した世界初の Intelligent CT (ドイツ シーメンス社製 SOMATOM X.cite) を導入しました。Dual Energyイメージングにより、これまでMRIなど他の装置で追加検査が必要だった症例がCTで検査・診断が可能になります。



低侵襲なCT検査①

従来の装置と比較して造影剤の使用量が最大で50%低減^{*1}が可能になります。造影剤の使用量を減らすことで従来検査が難しかった被検者の検査を行うことや、副作用の軽減にもつながります。



最大 **50%** 低減^{*1}

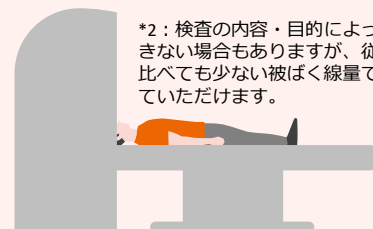
^{*1}: 検査の内容・目的によっては適応できない場合がありますが、従来の装置と比べても少ない造影剤量で検査を受けていただけます。

低侵襲なCT検査②

最新の被ばく低減技術によりレントゲン検査と同等の被ばく線量^{*2}で検査を受けていただくことが可能になります。CT検査は情報量が多く、特に肺がん検診での有用性の報告が多数出てきています。また内耳・副鼻腔領域、整形領域などにおいても一般撮影と同等の線量で検査を受けていただくことが可能になります。



=



^{*2}: 検査の内容・目的によっては適応できない場合もありますが、従来の装置と比べても少ない被ばく線量で検査を受けていただけます。

SOMATOM X.cite

By

SIEMENS
Healthineers



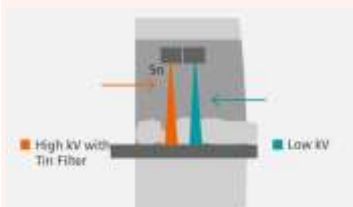
AIによる検査アシスト機能

天井に設置してあるAI技術を搭載した3Dカメラにより、寝台に寝ている患者様を装置が認識し、自動で適切な位置まで寝台を移動することが可能になります。自動ポジショニングにより、効率的に最適なポジショニングを行えます。



最新のCT検査

最新のDual Energyイメージングにより、これまで他のモダリティで追加検査が必要だった症例がCTで検査・診断が可能になります。



●この取り組みに対応するSDGs

病院ホームページのご案内

はくほう会セントラル病院では、ご利用いただく全ての方々に、見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるように、ホームページ、SNSを随時更新しております！また、日々更新、最新情報を掲載するように努めています。



はくほうかい

ホームページ アドレス
http://www.amahakuho.jp/



LINE 公式アカウント



スマホをお持ちの方はQRコードから



地域の医療を支える仕事
一緒に働いてみませんか

職員募集中！

栄養士・調理師・調理補助・医師事務・受付スタッフ・
看護師・社会福祉士・介護員

などなど多くの職種・お仕事があります！



詳細はホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



RE Actionは、2050年までに再生可能エネルギーで事業のエネルギーの100%を賄うという取り組みです。

伯鳳会グループは、全国の医療介護業界からただ一つの
スターティングメンバーとして、この取り組みに参加しました。



2021年10月よりから医療介護業界では初の『大阪ガスによるカーボンニュートラルな都市ガス（カーボンニュートラルLNG）』を導入しました。天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクト（植樹など）により創出されたCO₂クレジットで相殺する（カーボン・オフセット）ことで、伯鳳会グループのCO₂排出量の削減を図ります。

既に電気に関しては再生可能エネルギーの割合を増加させるなどの取り組みを実施していますので、今回の『カーボンニュートラルな都市ガスの導入』により更に取り組みを強化することができます。今後もカーボンニュートラルの達成に貢献できるように今後も様々な取り組みを実践して参ります。

【編集後記】

この2年間はコロナの影響で、様々な活動を自粛することになって気分が上らない日も多かったのではないのでしょうか。そのような日々の中で大谷選手のMVPは日本に元気を与えてくれました。世界で初の二刀流を実現したことは素晴らしいことであり、なによりも小さいころからの夢を着実にかなえている姿がとてまにかっこいいと思います。大谷選手を憧れる子供が増えたら、夢を持つ子供が増えるので、日本の未来は明るくなってきそうですね。

最近では日本人初の宇宙旅行が成功するニュースがあり、宇宙を旅する日も近いのかなんて思っています。費用が数億円…夢のまた夢ですね。でも、実現した事実を聞いただけでワクワクします。望遠鏡で見ていた星が実際の目で見ることができなんてロマンチックすぎますね。漫画の世界でしか無かったものを実現させているのは、きっと大谷選手のように夢を掲げた人が現実により近づけているように思います。

コロナで未来が見えない世の中ではありますが、宇宙旅行のような新しい未来を作りあげていけば過去よりも未来の方が明るくなっていきそうな気がします。そんな未来を夢見ながら、あとちょっとおうち時間を楽しんでみませんか？

はくほう会セントラル病院 広報委員会



医療法人伯鳳会 はくほう会セントラル病院
兵庫県尼崎市東園田町4丁目23番1号
TEL：06-4960-6800（代表）
FAX：06-4960-6900

令和4年1月 発行